

『リンパ脈管筋腫症における自己抗体陽性率と膠原病の合併に関する 後方視的研究』に關係する患者様、ご家族の皆様方へ

リンパ脈管筋腫症や膠原病は女性に多く見られる疾患であり、その相関關係について検討することは、今後の同様の患者様の管理、治療を考える際に有用と考えています。当院では、『リンパ脈管筋腫症における自己抗体陽性率と膠原病の合併に関する後方視的研究』という研究を行っています。

<調査の対象となる患者さま>

平成3年1月から平成27年12月末までに当院で、リンパ脈管筋腫症と診断し、経過観察、治療をさせていただいた患者様（約130名）が調査の対象となります。

<調査方法>

患者さまのカルテ等の記録をもとに調査いたします。本調査では、患者様に新たなご負担をおかけすることはありません。

<調査期間>

平成27年6月から平成30年12月末日まで上記の調査を行います。

<患者さまのプライバシーに関して>

プライバシー・個人情報 は 厳重に守られます。お名前、生年月日など患者さまを特定できる情報が外に出ることは決してありません。

ご不明な点がございましたら、以下に示す本調査の研究代表者、事務局までお問い合わせ下さい。また、この研究の対象となることをお断りになりたい患者様、ご家族の方も研究代表者または事務局までご連絡ください。各種データの使用を控えさせていただきます。ただし、学会や学術雑誌への発表後にご連絡をいただいた場合、使用中止は出来ません。

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町 1180

国立病院機構近畿中央胸部疾患センター

井上 義一(研究代表者)

二見 真史(事務局)

TEL: 072-252-3021, FAX: 072-251-1372

なおこの調査は病院外の専門家の方を含んだ臨床試験審査委員会(IRB)における厳重な審査・承認をうけて実施しています。